

2016年10月26日
東京電力ホールディングス株式会社
福島復興本社

**福島復興本社における
賠償・除染・復興推進に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～**

- 原子力損害賠償の進捗状況 _____ 1 ～ 3
- 除染等推進活動状況 _____ 4 ～ 5
- 復興推進活動状況 _____ 6 ～ 8

原子力損害賠償の進捗状況について

<原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績>

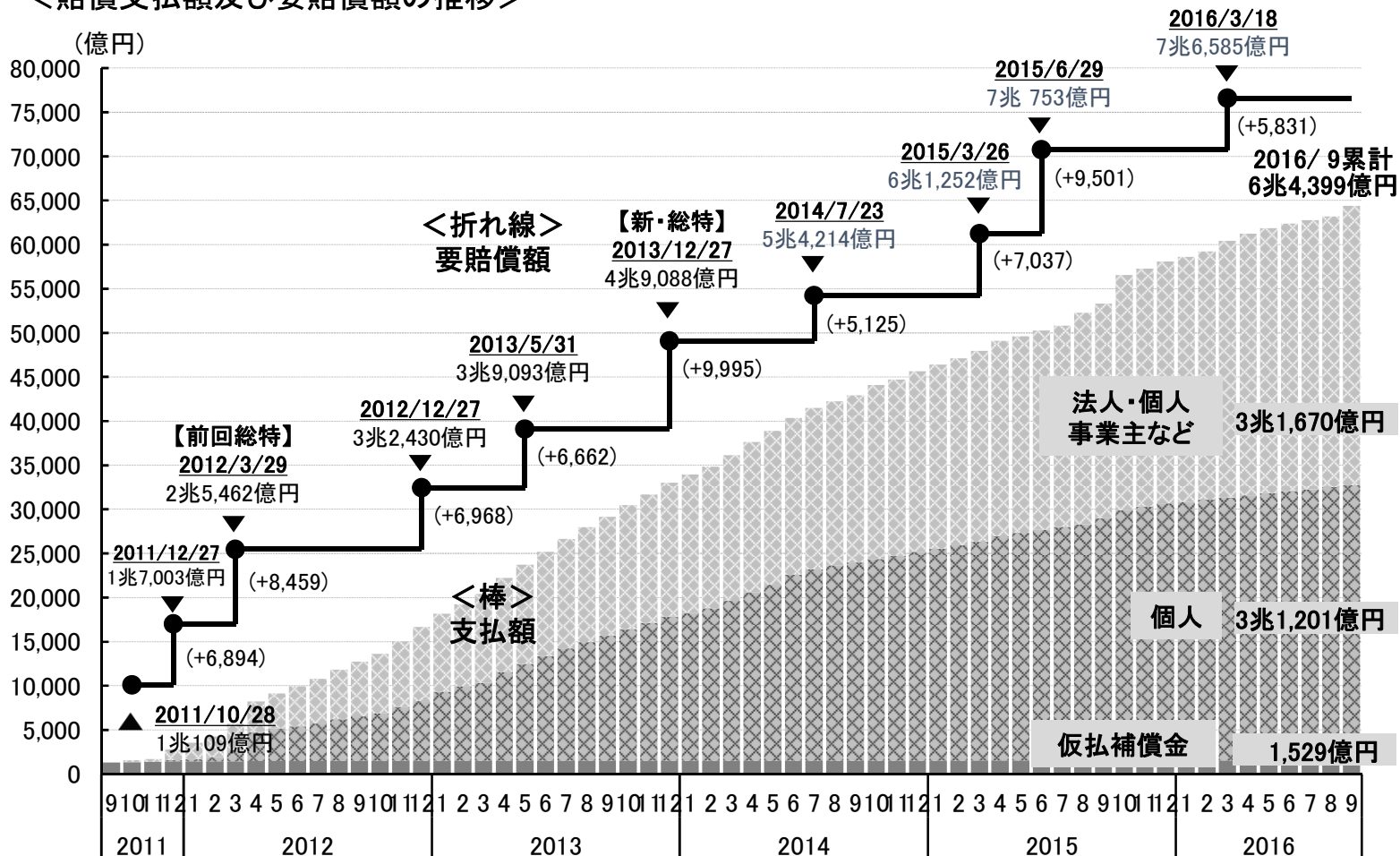
2016年10月21日現在

	個人 ※1	法人・個人 事業主など
ご請求について		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約2,262,000件	約427,000件
本賠償の状況について		
本賠償の件数(延べ件数)	約2,148,000件	約364,000件
本賠償の金額 ※2	約3兆1,354億円	約3兆1,797億円
これまでのお支払い金額について		
本賠償の金額 ※2		約6兆3,151億円 ①
仮払補償金		約1,529億円 ②
お支払い総額		約6兆4,680億円 ①+②

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

<賠償支払額及び要賠償額の推移>



<賠償項目別の合意金額の状況>

	要賠償額【新・総特】<A> (3/31変更認定)	合意いただけた実績 ^{※1} (2016年9月末現在)
I. 個人の方に係る項目	21,203億円	19,107億円
検査費用等	3,235億円	2,491億円
精神的損害	11,441億円	10,440億円
自主的避難等	3,681億円	3,627億円
就労不能損害	2,844億円	2,546億円
II. 法人・個人事業主の方に係る項目	25,631億円	24,942億円
営業損害	4,689億円	4,779億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	15,864億円	15,693億円
一括賠償（営業損害、風評被害）	2,383億円	1,459億円
間接損害等その他	2,693億円	3,009億円
III. 共通・その他	17,577億円	14,901億円
財物価値の喪失又は減少等	12,612億円	12,225億円
住居確保損害	4,715億円	2,426億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
IV. 除染等^{※2}	12,173億円	5,483億円
合計	76,585億円	64,435億円

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

【B/A 84%】

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 ・精神的損害 ・就労不能等に伴う損害 ・検査費用 ・避難・帰宅・一時立入費用 ・生命・身体的損害 等	9月:法人本賠償 ・営業損害 ・出荷制限指示等による損害 ・風評被害 ・間接損害 等
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償 仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	

【ADRの対応状況】

2016年10月21日現在

申立件数		21,033件
解決件数	全部和解件数	18,710件
	取下げ件数	15,524件
	打切り件数	1,737件
	却下	1,448件
現在進行中の件数		1件
		2,323件

出典：原子力損害賠償紛争解決センターHPより

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは20,867件(10月21日現在)

※当社に送達された件数は月平均で約260件(平成28年度)

※現在進行中の件数のうち、166件は一部和解が成立、6件は仮払和解が成立している。

※和解金額は約2,573億円

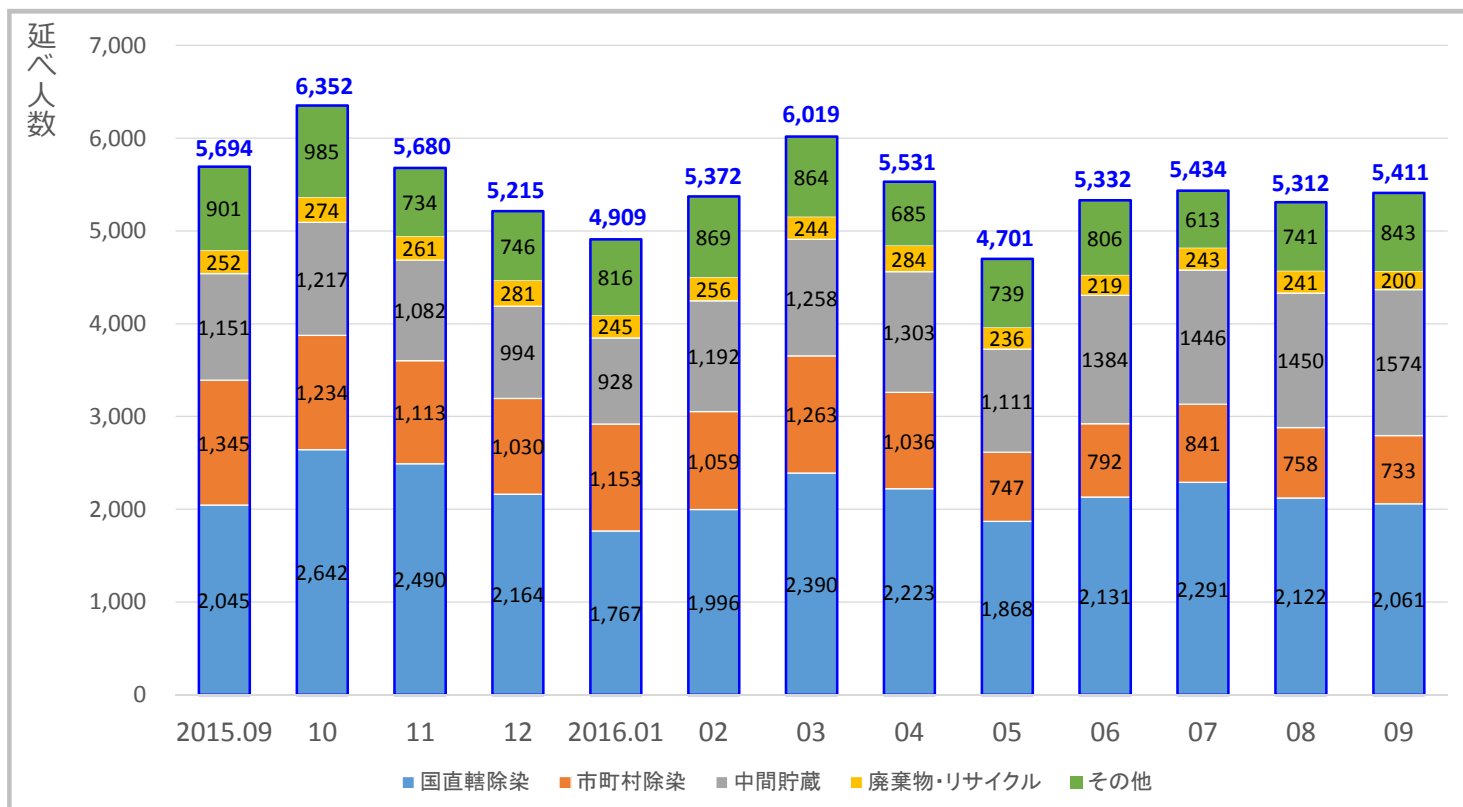
■ 現在までの主な取り組み

- 9月の活動実績は延べ5,411人。
- 国・市町村等が実施する除染、中間貯蔵、廃棄物・リサイクルの業務に人的・技術的な対応を実施。

[9月の活動実績]

活動内容	延べ人数
除染特別地域（国直轄除染）における対応	2,061人
除染実施区域（市町村除染）における対応	733人
中間貯蔵への対応	1,574人
廃棄物・リサイクルへの対応	200人
その他	843人
9月の活動実績合計	5,411人
復興本社設立（2013年1月）からの累計	191,159人

[月別・活動内容別実績の推移] 2015年9月～2016年9月



飯館村における畜産再開に向けたモニタリングへの対応

実施時期 2016年3月3日～

実施場所 飯館村

実施人数 社員延べ約60人

実施内容 飯館村からの要請により、畜産再開に向けて飼養実証事業※を行う牛舎等のモニタリングを福島県農業総合センターと分担して実施。同事業の準備段階として、飼育環境における放射線測定や飼料等の放射能濃度分析、および個人線量測定を実施。
 ※ 実際に家畜を飼育しながら、放射能の影響がないことを確認する事業



牛舎内のモニタリング状況



飼料のサンプル採取状況

除染等推進活動

葛尾村における日山（ひやま）山頂および登山道モニタリングへの対応

実施時期 2016年9月15日～9月27日

実施場所 葛尾村

実施人数 社員延べ7人

実施内容 葛尾村からの要請により、日山に登山する方々への情報提供を目的に、山頂および葛尾登山道のモニタリングを実施。空間線量率測定に加え、個人線量についても、山頂まで約4 kmの行程を登山し測定。

〔 空間線量率(地上高1 m)の平均値 : 山頂 0.29 μ Sv/h 登山道 0.51 μ Sv/h
 個人線量(山頂までの往復・山頂滞在含めて6時間の場合) : 約2 μ Sv/回 〕



日山神社前（山頂）での測定状況



葛尾登山道での測定状況



登山道の個人線量マップ

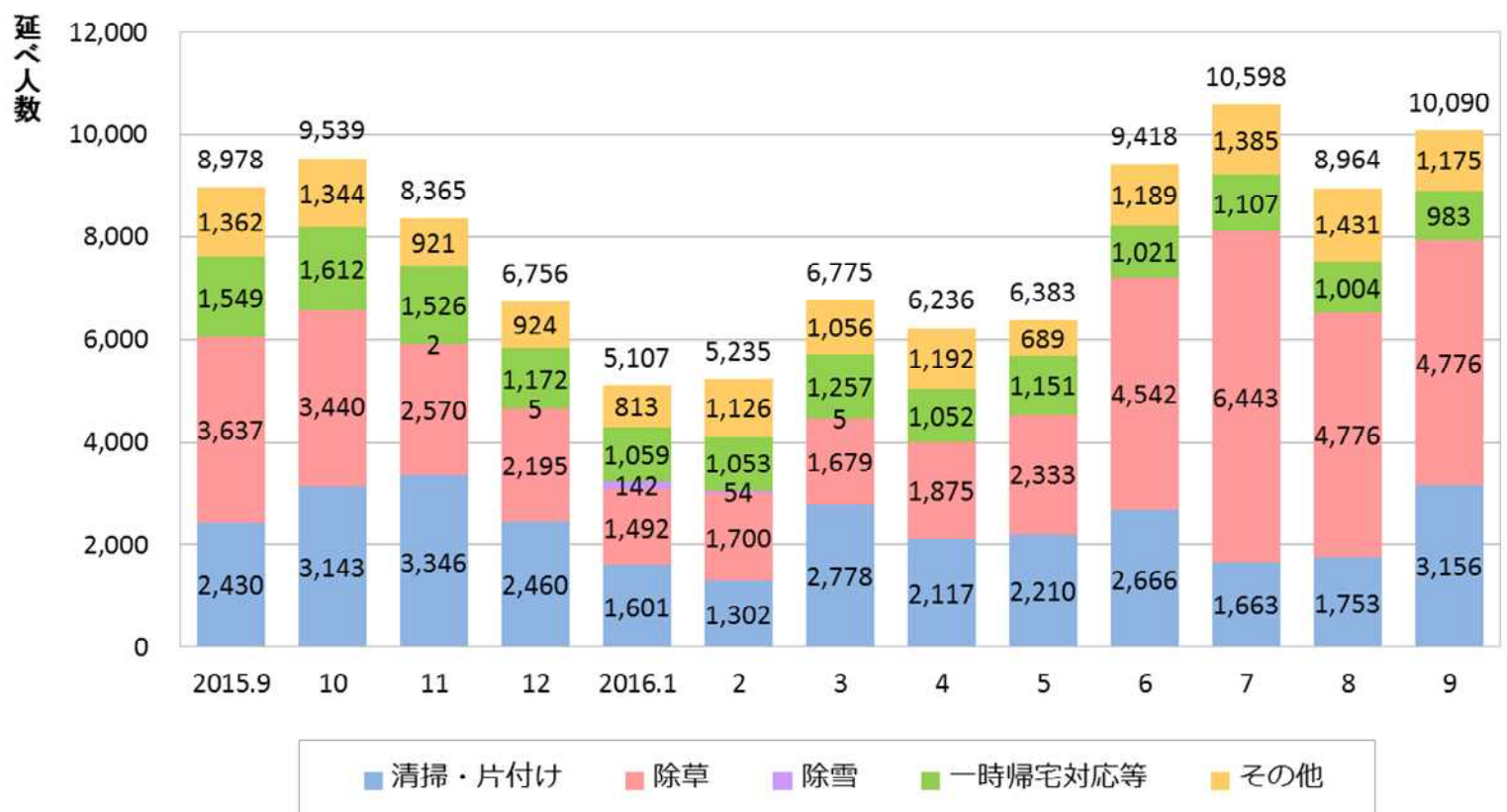
■ 現在までの主な取り組み

- 9月は、清掃・片付けならびに除草活動を中心に実施。活動実績は延べ10,090人。
- 地域に密着した取り組みとして、富岡町で「見回り活動」を開始。

[9月の活動実績]

活動内容	延べ人数
清掃・片付け（屋内清掃・大型家財搬出等）	3,156人
除草（町道・住宅進入路・公共施設等）	4,776人
一時帰宅対応等	983人
その他（イベント運営補助・介護研修会 他）	1,175人
9月の活動実績合計	10,090人
復興本社設立(2013年1月)からの累計	288,904人

[月別・活動内容別実績の推移] 2015年9月～2016年9月



「見回り活動」の拡大展開（富岡町）

実施時期 2016年9月17日より開始（9月は6日間実施）

実施場所 富岡町内（帰還困難区域を除く）

実施人数 社員延べ12人、ご訪問・面談 26軒（9月実績）

実施内容 2016年9月17日より開始された富岡町の準備宿泊に合わせ、週3日（水・土・日）「見回り活動」を展開。町内を車で巡回しながら住民の皆さまにお声掛けし、お手伝い（除草や片付け等）を実施。



出発前の様子 [2016年10月8日撮影]



巡回中の様子 [2016年10月2日撮影]



訪問前（準備）の様子 [2016年10月8日撮影]



見回り活動車 [2016年10月8日撮影]



訪問ならびに面談の様子 [2016年10月8日撮影]



「ふたばワールド2016inかつらお」の運営補助

実施時期 2016年10月2日

実施場所 葛尾村（村民グラウンド）

実施人数 社員108人

実施内容 「ふたばワールド2016」実行委員会事務局から葛尾村を通じてご要請いただき、開催日の運営補助（ステージ設営・キッズプレーゾーンならびにブースの運営・ごみ収集・交通誘導等）を実施。



ステージ設営の様子 [2016年10月2日撮影]



キッズプレーゾーン運営の様子 [2016年10月2日撮影]



ブース運営の様子 [2016年10月2日撮影]



ごみ収集の様子 [2016年10月2日撮影]



特設駐車場交通整理の様子 [2016年10月2日撮影]